

米沢東高生「困っている家庭に」 余った食品持ち寄り贈る



食料品を寄贈する米沢東高食物部の
部員たち＝米沢市すこやかセンター

米沢

家庭で余った
食品を持ち寄

り、生活に困っている家庭に届ける「フードドライブ活動」に取り組んでいる米沢東高（平塚志信校長）の食物部は24日、学校で集めた保存食などを米沢市社会福祉協議会に寄贈した。

同部のフードドライブ活動は今年で7年目。毎年、年末に生徒や教職員へ食料品提供に協力するよう呼びかけている。今年は協力の輪が卒業生にも広がり、コメや即席麺、缶詰や調味料など722点が集まった。

市すこやかセンターで行われた贈呈式には、部長の高橋風夏さん（17）ら部員3人が出席し、市社協の加藤智幸常務理事に食品を手渡した。加藤常務理事は「新型コロナウイルス感染症による厳しい経済状況の影響を受けた人がたくさんいる。責任を持って橋渡しをしたい」とあいさつ。3人は「たくさんの方の協力で食料品を届けることができたと」「誰かに貢献できたことがうれしい」「卒業しても協力したい」などと話した。（阿久津誠）